

第1回藤沢リーグ実施要項

1. 選手の登録

男子:4名以上15名以下

女子:2名以上15名以下

- ・登録する選手は藤沢市テニス協会に加盟している同一団体の一員であること。
- ・同じ選手は2チーム以上に登録することはできない。
- ・同一団体で複数のチームを登録しても良い。その場合、加盟団体名(略称)の後にアルファベット1文字を付けて区別する。(例:市役所A、市役所B)
- ・高校生以下は参加できない。
- ・登録順はシングルのランク順に関係なく登録可能とする。
- ・試合当日の人数が不足しないようチームを編成すること。なお1対戦に必要な最低人数は男子4名、女子2名だが、試合に出る人の半数以上が必ず市内在住/在勤/在学/在クラブ/在スクールであること。詳細は「3.試合方法の出場選手の制約事項」および別紙1を参照。

2. 対戦方法

各ブロックで4チームによるラウンドロビン(総当り)

全体チーム数が4の倍数にならず端数が出た場合は、他のブロックのチームとエキジビションマッチなどを実施し、最低3対戦ができるよう調整する。

3. 試合方法

男子:2複3単 5ポイントマッチ 原則5ポイント全て行う。

女子:1複2単 3ポイントマッチ 原則3ポイント全て行う。

- ・選手は同一対戦において単複各1試合まで重複して出場可能とする。
- ・各試合は原則として**1セットマッチ(6ー6時7ポイントタイブレーク)**とする。

試合の順序

男子:D2→D1→S3→S2→S1

女子:D1→S2→S1

※ シングルスおよびダブルスの出場順は、申込書の登録順と関係なく作ることができる。

※ レフェリーの判断により上記試合順を変更したり、複数面を利用して同時進行したりする場合がある。

出場選手の制約事項

市内在住/在勤/在学/在クラブ/在スクールのメンバーは1ポイント、それ以外を0ポイントとし、各対戦に出場する選手の合計ポイントが男子4ポイント、女子2ポイント以上であること。ポイント保有選手が単複両方に出た場合は2ポイントとする。

→例は別紙1参照

4. 審判

各試合ともセルフジャッジとし、とりまとめは対戦チームの代表者同士で行うこととする。

なお、各会場の設営や結果の集計などを行う“当番”は、事前に連絡したチームにお願いする予定です。指名を受けたチームはご協力をお願いします。

5. 使用球

使用球はダンロップFORTとし、両チームで折半とする。(奇数の場合は敗者チームが勝者チームより1缶多く負担)

ただし、事業所コート等外部のコートで試合を実施した場合は原則としてビジターチームが負担する。

6. 順位の決定

次の順に決定する。

(1) 完了試合が多いチーム

※チーム同士の対戦(3対戦)ではなく個別の試合の完了試合の合計とする。

※エギジブションマッチは完了試合とみなさない。

※対戦相手が原因で試合がなかったもしくはエギジブションとなった場合、原因となっていない側は完了試合とする。

※試合中のケガによるやむを得ない途中棄権は完了試合とみなす。

(2) 勝率の高いチーム

(3) 2チームが同率になった場合は、お互いの対戦(直接対決)の勝者。

(4) 3チーム以上が同率になった場合は、以下の要素①②で順位をつける。

※ 3チーム以上が同率の場合、直接対決は一切考慮しない。

① 総勝利試合数の多いチームが上位

② ①が同じ場合、全試合での取得ゲーム率が高いチームが上位

(取得ゲーム率) = (取得したゲーム合計数) ÷ (全試合のゲーム合計数)

(5) 上記(1)～(4)で決まらない場合、レフェリーが決定方法を決める。

7. 失格、棄権、遅刻等の処理

1) 相手が試合の途中で棄権した場合

その試合が完成するように勝者にゲーム数を加算する。 例: 2-2でリタイヤした場合は6-2で勝ちとする。

2) 相手チームが来なかった場合

相手チームが来なかった場合は不戦勝とし、対戦は5-0(女子は3-0)、各試合のスコアは6-0とする。

3) チームのメンバーで必要人数は揃っているが市内ポイントが足りない場合

ポイントを持っている選手が男子で2名以上、女子で1名以上いる場合は、規定ポイントに達するようポイント保有選手が単複に重複出場すること。

男子でポイントを持っている選手が1名の場合は、その1名が単複両方に出場し、その2試合を有効試合とする。それ以外の試合はエギジブションで行い、スコアは0-6負けとする。

ポイントを持っている選手が一人もない場合はすべての試合をエギジブションで行い、スコアは0-6負けとする。

4) 必要人数が足りていない場合

男子でメンバーが3名以下、女子で1名以下の場合は、市内ポイントに関係なく以下のとおりとする。

男子でメンバーが3名のとき: エギジブションでダブルス1、シングルス3、シングルス2、シングルス1の4試合を行う。

男子でメンバーが2名のとき: エギジブションでダブルス1、シングルス2、シングルス1の3試合を行う。

男女ともメンバーが1名の場合はエギジブションでシングルス1のみ行う。

いずれの場合もすべての試合の正式スコアは相手の0-6勝ちとする。

また、上記方法に従った結果、相手に試合ができないメンバーが生じてしまう場合、時間に余裕があるときに限り来ている選手が再度出場することによりエギジブション試合を行ってもよい。

5) 遅刻者の扱い

メンバーが集合時間に遅刻したときは欠席と同じ扱いとし、上記2～4に従うこととする。ただし、遅刻した選手はエギジブションの試合に限り出場しても良いこととする。

遅刻の定義: 日程表に記載の集合時間までに会場にいないものは遅刻とする。

遅刻の確認方法は12の1)を参照のこと。

8. 未消化試合

試合未消化の引き分けは認めない。双方とも0-5とする。

9. 部の編成と入れ替え

男子1部: 4チーム×1ブロック、ブロック内の1位と2位は1部残留、3位と4位は2部降格

2部: 4チーム×2ブロック、ブロック内の1位は1部昇格、2位は2部残留、3位と4位は3部降格

3部: 4チーム×4ブロック、ブロック内の1位は2部昇格、2位は3部昇格、3位と4位は4部降格

4部: 4チーム×8ブロック、ブロック内の1位は3部昇格、2位以下は4部残留

女子1部: 4チーム×1ブロック、ブロック内の1位と2位は1部残留、3位と4位は2部降格

2部: 4チーム×2ブロック、ブロック内の1位は1部昇格、2位は2部残留、3位と4位は3部降格

3部: 4チーム×4ブロック、ブロック内の1位は2部昇格、2位は3部昇格、3位と4位は4部降格

※同じ部の中のブロック分けは抽選とする。ただし同一団体が同じブロックにならないよう配慮する。

10. 特別処理

- ・部の入れ替えに不都合を生じた場合は、その都度主催者において処理する。
- ・リーグを撤退するチームがいる場合、原則直近のリーグは全対戦0-5で扱い、次期より昇格降格数を調整する。

11. 試合の消化方法

基本的に公営コートを使用し実施する。ただし、雨天等で延期になった試合は双方で調整し消化すること。

1) 不戦敗の扱い

ドローで決定された会場・日時に集まらない時は、集まらなかったチームを不戦敗とする。双方が集まらなかった時は、どちらも不戦敗とする。

2) 結果の報告

試合の結果は、所定の用紙に記入し、双方の代表者が署名の上、ただちに当番チームに渡すこと。

3) 雨天による未消化等でクラブ・事業所を使用する時

①使用コート

双方の話し合いにより決定、実施する。

②日時決定方法

指定した期日までにコート提供側の設定した日時に行なうものとする。但し、県選手権・都市対抗・クラブ対抗・関東オープン・全日本選手権・国体等＜予選を含む＞・神奈川リーグ(B大会含む)・関東リーグ・日本リーグに登録者が出場又は、関係してチーム編成が出来ない場合には調整をすること。

③未消化時の失格

天候等の正当な理由がなく指定の期日までに試合が行なわれなかった場合は、状況により双方又は片方を不戦敗にする。期日:1月末日

④試合結果の報告

試合の結果は所定の用紙に記入し双方の代表者が署名の上、レフェリーに速やかに送付すること。

⑤試合日程の問い合わせ義務

当該試合のコート選択権のないチームが問い合わせの義務を負う。コートの選択権をもっているチームが、選択権を放棄しようとするときは、速やかに相手チームに連絡すること。

コート選択権所有チームは右記で下線のあるチーム:1対2、1対3、1対4、2対3、2対4、3対4

⑥各チームコートのレフェリー権限

クラブ、事業所で行なう試合の当日に限り、コート提供チームの代表にレフェリー権限を与える。

4) 雨天以外で日程の変更を認める条件

下記事由が発生した場合は日程変更を認めることとする。ただし、積極的に相手チームに代替日程を提案すること。

- ・上位大会に登録者が出場又は、関係してメンバーが揃わない場合。(上位大会は上記3)の②参照)
- ・事業所チーム(または市内事業所主体サークルのチーム)において、事業所の出勤日と重なった場合。

例: 祝日が出勤日の事業所、選挙、等

※いずれの場合もなるべく申込時に申し出ることが望ましい。申込み後に上記事由が発生した場合は相手チームに迷惑のかからないよう、日程に十分余裕を見て連絡すること。

- ・その他、レフェリーが認める事由が発生した場合。

5) 自己都合によりメンバーが不足した場合

対戦を行うための最低人数は男子の場合4名、女子の場合2名です。あらかじめ発表されている日程に合わせてチーム編成をお願いしていますが、不都合が生じてメンバーが不足する場合は基本的に相手チームの不戦勝となります。例外として相手チームが別日程で試合実施を希望する場合は認めることとしますが、申し出のタイミングが急すぎるなど様々な状況が想定できますので、その都度レフェリーが判断することとします。試合を再設定する場合の日程は両チーム間で調整し、基本的に公営コート使用不可とします。また、コート費用と試合球の負担は基本的に不都合の生じたチーム側とするが、話し合いにより折半としてもよいこととします。

連絡先メールアドレス: f-league@fujisawa-tennis.com

12. 試合上の注意

- 1) 集合時間になったら出場選手全員がネットを挟みオーダー交換を行うこと。オーダー交換の時点で不在の選手は遅刻もしくは欠席の扱いとする。なお午後集合の試合においてコートがまだ空いていない場合は、時間になったらコートの外でオーダー交換を済ませ、コートが空き次第すぐに最初の試合を開始できるよう準備しておくこと。
- 2) ウォームアップは各試合の前に5分以内とし、各チームで必ず時間を計測すること。時間超過が見受けられた場合、その対戦の以降の試合はウォームアップなしとする。なお、当日の進行によりサーブ4本以内に変更する場合もある。
- 3) 服装は、テニスウェアとする。(テニス用のウェアであればゲームウェアである必要はない)
ロングシャツ・パンツは着用可とする。フェースマスクも使用可とするが、対戦前後の整列時および試合後は外した状態で挨拶をすること。またコールやスコアが聞き取りづらいなど、試合に支障をきたす場合は着用NGとする。
- 4) 雨天時でも基本的にチーム代表者はコートに参集すること。微妙な天候の場合は時間を遅らせて実施する場合もあるため、メンバーが集合して試合ができる準備をしておくこと。ただし、例外としてホームページの「雨天延期情報」にて中止が発表された場合は集合しなくて良いこととする。
- 5) 雨天時の不参集と不戦敗:該当する対戦の集合がかかった場合は集合時に不在のチームは不戦敗とする。該当する対戦の集合がかからなかった場合(雨天延期掲示板等で延期が発表された場合など)はどのチームも不戦敗とせず、日程の再調整をする。
- 6) 他の藤沢市協会主催大会にならない、チェンジエンド時は汗ふき・給水のみで速やかにチェンジすること。
- 7) ベンチコーチは原則1人までとする。ただし辻堂南部コートについては、出入りが多いと他のコートの進行の妨害となるため、ベンチをはみ出ない程度の人数まで座ってよいこととする。(登録選手または代表者に限る。またベンチに複数人数がいたとしてもコーチングできるのは1人のみ。)

13. その他の注意

- 1) 全会場共通の注意
敷地内および敷地周辺道路での喫煙は禁止。
- 2) 辻堂南部公園コート利用上の注意
 - ・無料駐車場利用は、参加する1チームにつき1台までとする。午前と午後の入替え時に混雑することがあるため、試合が終了したチームは速やかに車を移動させること。
 - ・大会関係者の辻堂南部コート壁打ち使用は禁止とする。
大会関係者:その大会に出場／応援のために会場に来ている人(試合が終わった後も含む)
 - ・辻堂南部コートはボールがフェンスを越えた場合はロストボールとなるため、予備のボールを準備することが望ましい。双方の合意の上ユーズドボールを使用しても構わない。
- 3) 県立スポーツセンター利用上の注意
 - ・会場へはなるべく公共交通機関を利用すること。駐車場利用は、参加する1チームにつき最大で1台までとする。
 - ・開門前、道路に車で並ぶようなことは絶対にやらないこと。
 - ・テニスコート横の駐輪場を利用する場合は、事前にグリーンハウスで清算を済ませること。

出場選手の制約事項(補足)

男子の場合	女子の場合
1 対戦5試合（ダブルス2試合、シングルス1試合）で行うため、選手が出場可能な枠は7 枠ある（ダブルス4 枠、シングルス3枠）。その7 枠のうち4 枠以上が市内ポイント保有者であればよい。 登録時、 選手A（1ポイント） 選手B（1ポイント） 選手C（1ポイント） 選手D（1ポイント） 選手E（0ポイント） 選手F（0ポイント） 選手G（0ポイント） とする。 ＜ポイント保有者が2名の場合＞ その2名が単複両方に出る必要がある。 例) ダブルス 2 ：選手A(1)・選手B(1) ダブルス 1 ：選手E(0)・選手F(0) シングルス 3：選手A(1) シングルス 2：選手B(1) シングルス 1：選手E(0) →合計4ポイントのためOK ＜ポイント保有者が3名の場合＞ その3名のうち少なくとも1名が単複両方に出る必要がある。 例) ダブルス 2 ：選手A(1)・選手B(1) ダブルス 1 ：選手C(1)・選手E(0) シングルス 3：選手C(1) シングルス 2：選手E(0) シングルス 1：選手F(0) →合計4ポイントのためOK ＜ポイント保有者が4名の場合＞ その4名は単複両方に出る必要はない(出ても良い)。 例1) ダブルス 2 ：選手A(1)・選手B(1) ダブルス 1 ：選手C(1)・選手D(1) シングルス 3：選手E(0) シングルス 2：選手F(0) シングルス 1：選手G(0) →合計4ポイントのためOK 例2) ダブルス 2 ：選手A(1)・選手D(0) ダブルス 1 ：選手E(0)・選手F(0) シングルス 3：選手A(1) シングルス 2：選手B(1) シングルス 1：選手C(1) →合計4ポイントのためOK	1 対戦3試合（ダブルス1試合、シングルス2試合）で行うため、選手が出場可能な枠は4 枠ある（ダブルス2 枠、シングルス2 枠）。その4 枠のうち2 枠以上が市内ポイント保有者であればよい。 登録時、 選手A（1ポイント） 選手B（1ポイント） 選手C（0ポイント） 選手D（0ポイント） とする。 ＜ポイント保有者が1名の場合＞ その1名が単複両方に出る必要がある。 例) ダブルス ：選手A(1)・選手C(0) シングルス 2：選手A(1) シングルス 1：選手D(0) →合計2ポイントのためOK ＜ポイント保有者が2名の場合＞ その2名は単複両方に出る必要はない(出ても良い)。 例) ダブルス ：選手A(1)・選手B(1) シングルス 2：選手C(0) シングルス 1：選手D(0) →合計2ポイントのためOK